

大中華文庫

漢日對照



大中華文庫

漢日對照

紅樓夢

紅樓夢

VIII

大中华文库

汉日对照

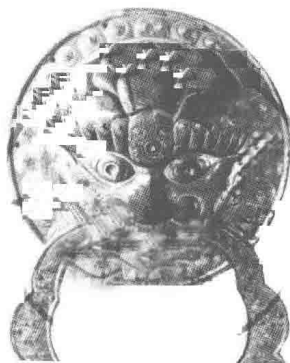
大中華文庫

漢日对照

红楼梦

紅樓夢

VIII



曹雪芹 高鹗 著
伊藤漱平 译

曹雪芹 高鹗 著
伊藤漱平 訳

人民文学出版社
人民文学出版社

著作权合同登记号 图字 01-2014-6431

图书在版编目(CIP)数据

红楼梦:汉日对照/(清)曹雪芹,(清)高鹗著;
(日)伊藤漱平译. —北京:人民文学出版社,2008.8
(大中华文库)

ISBN 978-7-02-007181-4

I. ①红… II. ①曹…②高…③伊… III. ①日语—汉语
—对照读物②章回小说—中国—清代 IV. H369.4:I
中国版本图书馆 CIP 数据核字(2008)第 100186 号

责任编辑 陈 旻

大中华文库

红 楼 梦

[清]曹雪芹 高鹗 著
(日)伊藤漱平 译

© 2014 人民文学出版社

出版发行者:

人民文学出版社

(北京市朝内大街 166 号)

邮政编码 100705

<http://www.rw-cn.com>

印刷者:

深圳佳信达印务有限公司印刷

开本:960×640 1/16(精装) 印张:323.25 印数:1000

2014 年 12 月份第 1 版第 1 次印刷

(汉日)

ISBN 978-7-02-007181-4

定价:970.00 元

版权所有 盗版必究

大中华文库

汉日对照

大中華文庫

漢日对照

红楼梦

紅樓夢

VIII



曹雪芹 高鹗 著
伊藤漱平 译

曹雪芹 高鹗 著
伊藤漱平 訳

人民文学出版社
人民文学出版社

第一百四回

醉金刚小鳅生大浪 痴公子馀痛触前情

话说贾雨村刚欲过渡，见有人飞奔而来，跑到跟前，口称：“老爷，方才进的那庙火起了。”雨村回首看时，只见烈焰烧天，飞灰蔽日。雨村心想：“这也奇怪，我才出来走不多远，这火从何而来。莫非士隐遭劫于此？”欲待回去，又恐误了过河；若不回去，心下又不安。想了一想，便问道：“你方才见这老道士出来了没有？”那人道：“小的原随老爷出来，因腹内疼痛，略走了一走。回头看见一片火光，原来就是那庙中火起。特赶来禀知老爷。并没看见有人出来。”雨村虽则心里狐疑，究竟是名利关心的人，那肯回去看视，便叫那人：





第百四回

酔金剛 小鯽の大浪を生ずること
癡公子 余痛の前情に触るること

さて、賈雨村がいよいよこの渡しを渡ろうという折も折、一人の男が飛ぶようにしてすぐ前まで駆けつけると、こう注進に及びました。

「お殿様、さきほど立ち入られましたるあの寺より出火いたしてございます」

雨村が振り向いて眺めやったところ、烈々たる焰は天空をも焦がさんという勢い、飛散する灰は日輪をも蔽わんとするありさま……。雨村はそこで考えて、

〈これはまた奇怪至極、わたしはさっき出てきたところで、なにほどもきておらぬのに、あの火はいったいどこから出たものか？士隠どののことゆえ、まさかあの場所で劫火に遭ったりもされまいが……〉

と、そこから取って返そうとしたものの、待てよ、下手をして河を渡り損ねても、とそれも気になり、さりとて引き返さずにおくのも、なんとなく気持が落ち着かぬ……。一思案したあと、すかさずたずねました。

「おまえ、いましがたあの年寄りの道士の出てくる姿を見なかったか？」

するとその者の答えますには、

「てまえ、実はお殿様のお伴をして出てまいりましたところ、お腹がきりきり痛み始めましたため、用を足そうと道から逸れました。ひょいと振り向くと、ぱっと火柱の立っているのが目にはいりましたが、それがなんとあの寺から出火しておるではございませんか。すわ一大事だ、となにはともあれお殿様にお知らせ申さんとて、かくは馳せつけたような次第。もっとも、人の出てまいる姿は見かけませんでした、はい」

雨村も心中さすがに躊躇はしたものの、名利にのみ関心を寄せている人間の浅ましき、わざわざ確かめにとって返すだけの誠意など持ち合



“你在这里，等火灭了进去瞧那老道在与不在，即来回禀。”那人只得答应了，伺候雨村过河，仍自去查看。查了几处，遇公馆便自歇下。明日又行一程，进了都门，众衙役接着，前呼后拥的走着。雨村坐在轿内，听见轿前开路的人吵嚷。雨村问是何事，那开路的拉了一个人过来跪在轿前禀道：“那人酒醉不知回避，反冲突过来。小的吆喝他，他倒恃酒撒赖，躺在街心，说小的打了他了。”雨村便道：“我是管理这里地方的，你们都是我的子民。知道本府经过，喝了酒不知退避，还敢撒赖。”那人道：“我喝酒是自己的钱，醉了躺的是皇上的地，便是大人老爷也管不得。”雨村怒道：“这人目无法纪，问他叫什么名字。”那人回道：“我叫醉金刚倪二。”雨村听了生气，叫人打这金刚，“瞧他是金刚不是！”手下把倪二



わせていようはずもなく、さっそくその者に、

「おまえはこちらで待ち受け、火が消えたらなかにはいつて、あの老人の道士がつつがなかったかどうかを調べよ。結果をすぐにきて報告するのだぞ」

と命じました。その者は嫌ともいえず「承知いたしました」と答えて、雨村の河越えの世話をしました。河を渡った雨村はまえのように調査を進め、何ヵ所かの調査を済ませて、近辺の〔役所の〕官舎で、夜を明かしました。

翌日はまたかなりの道程の道中を終えて都にはいると、大勢の下役人に迎えられ、これに前後を警衛されて行列を進めます。

雨村は轎のうちに在って、轎の先頭に立った露払いの者たちのどなりつける声をふと耳にしました。なにごとかとたずねてみたところ、その露払いの者が一人の男を引っ立ててきて、轎の前に跪くと、こう報告しました。

「こいつめは喰らい酔いまして、身を避けることもわきまえぬばかりか、逆に突っかかってまいったのでございます。てまえが叱りつけましたところ、こいつめ、酔った勢いで狼藉を働き、お道筋のまん中にひっくり返って、そっちが手を出した、などと言いがかりをつけ喰ってかかったのでございます」

雨村は即座に、

「わしはこの地方を治めておる者ゆえ、なんじらはみなわが子も同然。しかるに当府長官の行列だと承知しながら、酒を喰らってこれを避けることもわきまえず、そのうえ狼藉を働くとはもってのほか！」

と叱りつけました。するとその者、

「酒を飲むのも切るのは身錢、酔っぱらって横になるのも天子さまの土地。たとえ相手が知府さまであろうと、かれこれ口出しはできねえはずだ」

雨村は立腹して、

「そやつ、国法もなにも眼中にないとみえる。名はなんと申すか、聞いてみよ」

こういいますと、その者が答えて、

「はばかりながら酔金剛の倪二とはおれさまのことよ」

雨村は聞くなりいきり立ち、



按倒，着实的打了几鞭。倪二负痛，酒醒求饶。雨村在轿内笑道：“原来是这么个金刚么！我且不打你，叫人带进衙门慢慢的问你。”众衙役答应，拴了倪二拉着便走。倪二哀求也不中用。雨村进内覆旨回曹，那里把这件事放在心上。那街上看热闹的三三两两传说：“倪二仗着有些力气恃酒讹人，今儿碰在贾大人手里，只怕不轻饶的。”这话已传到他妻女耳边。那夜果等倪二不见回家，他女儿便到各处赌场寻觅，那赌博的都是这么说，他女儿急得哭了。众人都道：“你不用着急，那贾大人是荣府的一家。荣府里的一个什么二爷和你父亲相好，你同你母亲去找他，说个情就放出来了。”倪二的女儿听了，想了一想，“果然我父亲常说隔壁贾二爷和他好，为什么不找他去。”赶着回来即和母亲说了。娘儿两个去找贾芸。那日贾芸恰在家，见他母女两个过来，便让坐。贾芸的母亲便



「その金剛とやらを打ちのめせ。そやつが金剛かどうか、試すのだ！」

と下知を下しました。配下の者が倪二を押えつけ、思いきり鞭をくれます。それも四、五遍のこと、倪二はあまりの痛さに酒の酔いも醒め果てて、許しを求める他愛のなさ。雨村は轎のなかで笑い出し、

「なんと、口ほどにもない、とんだ金剛であったな。では、ひとまず打つのはそれだけにして、役所に引立てさせ、ゆるゆる糾明するとしようぞ」

下役人たちはかしこまって、倪二を括り上げるとそのまま引立てます。倪二がいくら許しを求めて哀願しても駄目でした。

雨村は参内して復命を済ませると役所にもどりましたが、無論さいぜんの出来事など心に留めていようわけがありません。

ところで通りで騒ぎを見物していた者たちは、二人寄り三人寄りしてこう言い合うのでした。

「倪二のやつ、小力のあるのを恃み、酒の勢いを借りては人を強請ったりしておったが、今日という今日は、賈のお殿様にぶつかってその手に落ちた以上、ちっとやそっとのお咎めでは済むまいて」

この評判はすでに倪二の女房と娘の耳にまで伝わりました。その夜、はたしていくら待っても倪二は帰宅しません。娘はさっそく諸方の賭博場を探し廻りましたが、ゆくさきざきでの博奕打ちの連中が申し合わせたようにそういいますので、娘は取り乱して泣き出す始末。一同は口々に勧めて、

「いや、なにもそう気を揉むことはなかろう。あの賈のお殿様は榮国さまのご親戚筋に当たられる。その榮国さまの二の若様だとかと、あんたの親爺さんは懇意にしておったはず、あんたは母さんといっしょにそのお人を訪ね、そちらから口を利いてもらったら、すぐにも釈放してもらえようよ」

倪二の娘はそれを聞いて、一思案し、

〈なるほど、確かにうちの父さんは、お隣の賈の二の若様には昵懇に願っておる、と口癖のようにいっておった。この際あのかたに会いにゆかずに置く手はなかろうよ〉

と、急ぎ立ちもどって、母親にその由を語り、善は急げと母娘二人打ち連れて賈芸を訪ねました。

その日は賈芸、ちょうど在宅で、この母娘二人が出かけてきたのを



倒茶。倪家母女即将倪二被贾大人拿去的话说了一遍，“求二爷说情放出来。”贾芸一口应承，说：“这算不得什么，我到西府里说一声就放了。那贾大人全仗我家的西府里才得做了这么大官，只要打发个人去一说就完了。”倪家母女欢喜，回来便到府里告诉了倪二，叫他不用忙，已经求了贾二爷，他满口应承，讨个情便放出来的。倪二听了也喜欢。不料贾芸自从那日给凤姐送礼不收，不好意思进来，也不常到荣府。那荣府的门上原看着主子的行事，叫谁走动才有些体面，一时来了他便进去通报；若主子不大理了，不论本家亲戚，他一概不回，支了去就完事。那日贾芸到府上说“给琰二爷请安”。门上的说：“二爷不在家，等回来我们替回罢。”贾芸欲要说请二奶奶的安，生恐门上厌烦，只得回家，又被倪家母女催逼着说：



見ると、「どうぞどうぞ」と席をすすめました。賈芸の母親が茶を注いで出します。倪家の母娘は、うちの倪二が賈のお殿様に捕まりまして、とさっそく事情をひととおりに語ってから、

「どうか若様、釈放になりますようお口利きをお願いいたします」と頼みこみました。賈芸はよしきたと請け合って、

「それならおやすいご用。わたしが西屋敷（栄国邸）へ出かけて、ひとこと口を利いたら、すぐにも放免になりましょう。あの賈のお殿様というのは、うちの西屋敷の引きでもって、ああした大官にまで立身なされたおかたゆえ、使いの者をやって話さえ通じさせたら、それでもうかたがつきますとも」

倪家の母娘は喜んで、もどるなりさっそく府の役所に出頭して倪二に面会し、そのことを知らせました。そして、なにもあわてるには及ばぬ、もう賈の二番目の若様をお願い申したが、あのかたは大船に乗った気でと引き受けてくださり、話をして放免になるよう取り計らってくださるはずだから、といって聞かせます。倪二もそれを聞いて喜びました。

ところが賈芸はいつぞやの日、熙鳳に進物を持参したところ、受け取ってもらえず、それからというもの、奥へ顔を出すのはなんとなく気が引けますので、滅多に栄国邸へは出かけないようにしていたのです。この栄国邸の門詰めの者たちというのがまた、もともと主人の客に対する目の色を読んで、誰を出入りさせたならば世間体がよいかという目安にしており、しかるべき者がきたときには、不意の訪問であつてもすぐさま取り次ぎます。その代わり、主人がもうあまり構いつけなくなったな、と見て取ろうものなら、同族であろうと親戚であろうと、すべて取り次ぎは見合わせて態よくあしらって追い返し、能事了れりとするのでした。

その日も賈芸が屋敷まで出向いてきて、

「璉さまにお目にかかりたい」

と申し入れましたところ、門詰めの者がいいますことには、

「御前様はお留守につき、のちほどご帰館になりましたら、わたくしどもからそのむねお伝えするといたしましょう」

そこで賈芸は、二の若奥様（熙鳳）のご機嫌伺いに上がりたいのだが、とよほど切り出そうかと思つたものの、門詰めの者にうるさがられはせぬかと気がねして、ぜひなく帰宅しました。するとこんどはまた倪



“二爷常说，府上是不论那个衙门，说一声谁敢不依。如今还是府里的一家，又不为什么大事，这个情还讨不来，白是我们二爷了。”贾芸脸上下不来，嘴里还说硬话：“昨儿我们家里有事，没打发人说去，少不得今儿说了就放。什么大不了的事。”倪家母女只得听信。岂知贾芸近日大门竟不得进去，绕到后头要进园内找宝玉，不料园门锁着。只得垂头丧气的回来。想起“那年倪二借银与我，买了香料送给他，才派我种树；如今我没有钱去打点，就把我拒绝。他也不是什么好的，拿着太爷留下的公中银钱在外放加一钱，我们穷本家要借一两也不能。他打谅保得住一辈子不穷的了，那知外头的声名很不好。我不说罢了，若说起来人命官司不知有多少呢。”一面想着来到家中，只见倪家母女都等着。贾芸无言可支，便说道：



家の母娘からやいのやいのと責め立てられる羽目に……。

「若様はいつも仰せでいらっしゃいましたね、どこのお役所であろうと、あちらのお屋敷でひとことお口を利かれたら、どなたでもお聞き入れにならぬかたはないのだとか。こんどの場合、お屋敷のご親戚に当たられるかたでもあり、また格別の大事件でもございません。このくらいのことを大目にみていただけないようでは、なんの若様そやということになりますわ」

これには賈芸、面目まる潰れの思いでしたが、それでも口先では強がりをして、

「いや、実は昨日、うちでは取り込み事が出来たため、まだ使いを出すところまでいっていないのですが、今日ちょっと話を通じさえしたらすぐ釈放になることは請け合いですよ。なにもたいそうな事件というわけではなし……」

こういわれては、倪家の母娘もそのことばを信ずるほかありません。

いずくんぞ知らん、賈芸は近頃表門を大手を振っては通れないところから、ひとつ裏より廻って園にはいり、宝玉をつかまえよう、と考えました。ところがその園の門が閉鎖されていたのにはすっかり当てが外れ、手もなく首うなだれてとぼとぼもどってきました。それにつけても思うのは、

〈先年、倪二がわたしに銀子を貸してくれ、それを資本に香料を買入れてあのひと（熙鳳）に進上したところ、やっと植樹の仕事を廻してもらえたわけだ。それが当節では袖の下一つ使おうにも、こちらに銀子がないものだから、手の裏返したように玄関払いを喰わせおる。どだいのあのひとにしても、あまり立派な人間とはいえんのにさ。大殿様が残された公の銀子をば外部に貸し出して、一割もの利息をかせいでおきながら、わたしたちのような貧乏暮らしをしておる一族の者が、一両の銀子を借りようとしても、話に乗ってくれぬのだからな。あの流儀で自分ではもう一生貧乏しないで済むつもりでおるらしいが、どうだ、世間での評判の減法わるいことといったら！まあわたしが口外しないから無事だが、もしも言い立てたりした日には、殺人事件だとして何件あるか知れぬほどだからな〉

などと考えながら帰宅したところ、倪家の母娘が揃って待ち受けていました。賈芸はもっともらしい口実とてないままに、そこでこう言い



“西府里已经打发人说了，只言贾大人不依。你还求我们家的奴才周瑞的亲戚冷子兴去才中用。”倪家母女听了，说：“二爷这样体面爷们还不中用，若是奴才是更不中用了。”贾芸不好意思，心里发急道：“你不知道，如今的奴才比主子强多着呢。”倪家母女听来无法，只得冷笑几声说：“这倒难为二爷白跑了这几天，等我们那一个出来再道乏罢。”说毕出来，另托人将倪二弄了出来，只打了几板，也没有什么罪。倪二回家，他妻女将贾家不肯说情的话说了一遍，倪二正喝着酒，便生气要找贾芸，说：“这小杂种没良心的东西！头里他没有饭吃，要到府内钻谋事办，亏我倪二爷帮了他。如今我有了事，他不管。好罢咧，若是我倪二闹出来，连两府里都不干净。”他妻女忙劝道：“噯，你又喝了黄汤便是这样有天没日头的！前儿可不是醉了闹的乱子。捱了打还没好呢，你又闹了。”倪



逃れをはかります。

「西屋敷ではもう人をやって話をさせなされたのですが、なんでも賈のお殿様がうんとおっしゃらぬのだそうですよ。この分ではやはりうちの召使の周瑞の親戚に当たる冷子興あたりにお頼みにならぬことには、効目がありますまいね」

それを聞いた倪家の母娘、

「若様ほどにお顔のある殿方のお口利きでさえ効目がないとしますと、まして召使風情ではなおのこと効目がありそうにも思えませんね」

こういいました。賈芸はばつのわるい思いで心中狼狽しながらも、

「いや、あんたはご存じないのだ。当節では召使の方が主人よりもよほど実力がありますからな」

といいます。倪家の母娘もそう突き放されてはどうしようもなく、二声三声冷笑を洩らして、「それでは若様にせつかくこの二、三日奔走していただきましたのも、無駄足に終わったわけでございますね。いずれうちの人が出所してまいりましたあかつきには、改めてお礼に参じます」

こう言い捨てて出てくると、別にほかから手を廻し倪二を釈放してもらいました。それもただ板子をいくつか喰らっただけで済み、格別罪に問われもせず仕舞でした。

家にもどった倪二は、女房と娘の口から、賈家ではさっぱり彼に代わって詫びを入れてくれようとしなかった顛末を聞かされました。倪二はちょうど酒を飲んでいましたが、とたんにかつと逆上して、賈芸のところへ乗りこむのだ、と言い出し、

「あの人非人の若僧の野郎め！以前あいつは、その日のお飯にもありつけないほどで、なんとかお屋敷に喰いこんでなにか仕事をもらうつもりだというものだから、この倪二の旦那が後楯になってやり、お蔭で首尾よく運んだのさ。それがどうだ、こんどおれさまにことが持ち上がったとなると、あいつめ、構ってくれようとしくさらぬ。フン、よかろうよ、もしもこの倪二さまが騒ぎ出した日には、両方の屋敷とも泥をかぶらずには済まんのだからな」

と息巻きます。倪二の女房があわてて宥めにかかり、

「おやおや、あんたときてはまた気違い水をあおって、空はあってもお天道さまがないみたいな、そんな無茶をおいいだよ。ついせんだつても酔ったまぎれに騒ぎをやらかしたではないの！打たれてその傷がま



二道：“捱了打便怕他不成！只怕拿不着由头。我在监里的时候倒认得了好几个有义气的朋友，听见他们说起来，不独是城内姓贾的多，外省姓贾的也不少。前儿监里收下了好几个贾家的家人。我倒说这里的贾家小一辈子并奴才们虽不好，他们老一辈的还好，怎么犯了事。我打听打听说是和这里贾家是一家，都住在外省，审明白了进来问罪的。我才放心。若说贾二这小子他忘恩负义，我便和几个朋友说他家怎样倚势欺人，怎样盘剥小民，怎样强娶有男妇女，叫他们吵嚷出来有了风声到了都老爷耳朵里，这一闹起来叫你们才认得倪二金刚呢。”他女人道：“你喝了酒睡去罢。他又强占谁家的女人来了，没有的事，你不用混说了。”倪二道：“你们在家里那里知道外头的事。前年我在赌场里碰见了小张，说他女人被贾家占了，他还和我商量。我倒劝他才了事的。但不知这小张如今那里去了，这两年没见。若碰着了，我倪二出个主意，叫贾老二死